

生涯学習振興・社会教育関係職員等研修における事前アンケートの改善

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 大名 克英

調査研究の概要

本調査研究では、広島県立生涯学習センターが行っている生涯学習振興・社会教育関係職員等研修（以下単に「研修」という。）における事前アンケートの改善点を探りながら、今後の研修の在り方を含めた改善案を明らかにしようとしている。

現在、研修においては、事前アンケートを各研修受講者に提出してもらっており、運営側として参加者の大まかな把握に役立っている。しかし、研修参加者側（各自治体・各受講者）への十分な還元ができていないという課題がある。

そこで、先行研究や文献、事前アンケートの記述内容の分析などから、今後の研修に役立つような内容を探りながら、研修そのものが、受講した職員のキャリア形成にどのように役立っているのか、また、研修への参加のモチベーションを上げ、更に効果的な研修としていくにはどのような手立てを講じる必要があるのかなどを明らかにしていくこととした。

アンケートに書かれた文章を、内容に応じて文や文節ごとに類別し、それらを色分けしながらラベリングをしていく分析方法を用いた結果、受講者が研修に期待していることが明らかになった。分析を通して明らかになったことを、研修で活用するように工夫することによって、更に受講者へのフィードバックが可能となると考える。

成果としては、基礎研修が学習プログラム研修を学ぶことへの動機付けにつながっていること、また、学習プログラム研修がより高度な専門性を磨く研修への動機付けにつながっていることが確認できた。さらに、事前アンケート等の分析をする際、アナログテキストマイニングの手法を用いると受講者の研修に対するニーズが明確になることが分かったので、今後の研修運営に役立てていくことができる。

今後の課題は、本研究で明らかになった 11 の項目について、研修で理解することができたかどうか、また実際の職務に役立てることができたかどうかに関するヒアリング調査などを通して、市町の職員の実態に近づけるようブラッシュアップを図る必要があること、また、施策立案研修へ参加した受講者が求めている多様なニーズへ対応した研修内容については、先のヒアリングなどに関連させて、今後も引き続いて調査研究を行いながら、明らかにしていく必要があることである。

同じ研修体系で行う研修を3年一括りとして考えると、本研修は再来年度、見直しを図る必要がある。そのために、これまで2年を終了した時点で、一旦まとめて、再来年度の研修体系見直しの足掛かりとすることも想定しており、本研究はその基礎資料として活用できるものである。

調査研究の構成

- 1 事前アンケートの現状について
- 2 職員のキャリア形成における研修の効果について
- 3 研修参加へのモチベーションを上げることについて
- 4 事前アンケートを参加者に還元するための手立てについて
- 5 事前アンケートの具体の改善案について
- 6 課題と今後の方向性

生涯学習振興・社会教育関係職員等研修における事前アンケートの改善

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 大名 克英

1

研究テーマ設定の理由その1

当センターの研修での事前アンケートの扱い

- 行うこととなった経緯……。

平成22年度の研修からスタート

- ①参加者の研修に対する考え，希望の把握。
- ②研修の企画・運営資料としての活用。

平成23年度 部分的に電子システム化を検討
平成24年度 現在の様式に
事前に取りまとめ，講師に情報提供
平成25年度 新たな研修体系スタート
事前アンケートの形態は変わらず

▲現状では，①と②についてはできているが，更に改善していく視点として，「参加者へ還元」について調査研究を行う。

2

研究テーマ設定の理由その2

更なる質の
向上へ向けた
疑問として
・・・。

研修そのものが、受講する職員のキャリア形成の視点からみると本当に役立っているのだろうか？

○具体的には

- 研修の学びを生かした取組が、受講者の職場において行われているのか
- 職員のキャリア形成にどのように影響を与えているのか



▲アウトカムに至るような効果について、体系立てた内容までは明らかになっていない。

これらが、明らかになれば、研修内容の改善につながり、さらに充実した研修になるのではないか。

3

研究の目的

そこで、先の2つの理由から、研修における事前アンケートをテーマとして、下記の目的で研究することとした

- 先行研究や文献などの好事例を探りながら、研修自体が職員のキャリア形成にどのように役立っているのか、また、研修への参加のモチベーションを上げるためにはどのようなことが効果的であるのかなどを明らかにしていき、事前アンケートを参加者に効果的に還元するための手立てを講じながら、改善を図る。

4

目次

- 1 事前アンケートの現状について
- 2 職員のキャリア形成における研修の効果について
- 3 研修参加へのモチベーションを上げることについて
- 4 事前アンケートを参加者に還元するための手立てについて
- 5 事前アンケートの具体の改善案について
- 6 課題と今後の方向性

5

1 事前アンケートの現状について

まず、現状で活用している2つの視点で事前アンケートを見てみると・・・。

- ①参加者の研修に対する考え、希望の把握。
- ②研修の企画・運営資料としての活用。

• 事前アンケートの記述から見えてくること

○基礎研修

基礎的な内容を学びたい

○学習プログラム研修

学習課題の把握と企画立案の能力を高めたい

○施策立案研修

より専門的な能力を身に付けたい

大まかではあるが、受講者の思いが見えてくる。

6

2 職員のキャリア形成における研修の効果について

受講後の事後アンケートなどの結果から、肯定的な評価をいただいているが、日常業務に役立っているのだろうか。



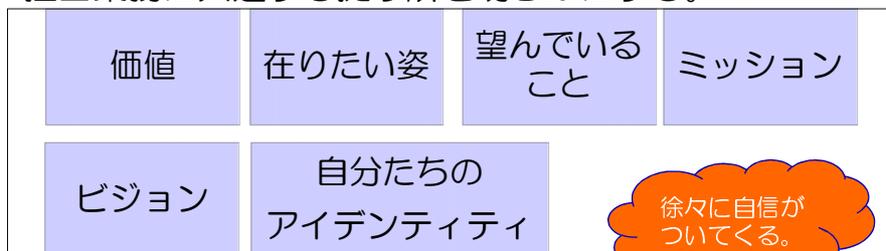
いくら内容が理解できたとしても、日常業務へのモチベーションが上がらないと、研修に参加しようという気持ちが起きないのではないのだろうか？

7

そこで、改めて研修参加へのモチベーションについて考えるとともに、更に向上させるためには、何が重要であるかを考えてみた。

3 研修参加へのモチベーションについて

- 経験・実績を積む。
- 担当業務に共通する拠り所を明らかにする。



8

- こんなことをしてみたい！
- よりよくするには、どんなアプローチがあるかな！

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて

さらに、事前アンケートと事後アンケートの記述内容を分析すると、本研修に期待すること・今後学んでいきたいことなどの受講者が本研修に期待していることが見えてくるのではないだろうか。

分析手法

アンケートに書かれた文章を、内容に応じて文や文節ごとに類別し、それを色分けをしながらラベリングをしていった。テキストマイニングの手法をコンピュータを用いず色鉛筆で行った。

名付けて、

アナログ・テキストマイニング

ちなみに、テキストマイニングとは・・・

文章からなるデータを、自然言語解析の手法を使って単語やフレーズに分割し、それらの出現頻度や相関関係を分析して有用な情報を抽出する手法やシステムのこと。マイニング(mining)とは「発掘」という意味で、テキスト群から価値ある情報を掘り出すといった意味が込められている。

9

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて

仮説

本分析を通して、明らかにしたいことは、

- ・受講者がこの研修にどのようなことを期待しているのか。
- ・今後、どのような学びが必要だと考えているか。



これらの分析をすることで...

今後は、分析結果と研修の内容とがマッチしているかどうかを見ていながら、研修内容を検討していくことができ、受講者のニーズに合った研修が実施できる。

- それによって、受講者の研修参加へのモチベーションが上がるのではないだろうか？

10

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて

事前アンケートの記述内容の分類

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター「平成21年度社会教育活動の実態に関する実態調査報告書」の「職員に今後身につけてもらいたい資質・能力」に関するデータに当てはめて分類を行った。

①学習課題の把握と企画立案能力に関する内容
②コミュニケーション能力に関する内容
③学習者の集団の組織化援助に関する内容
④調整者（コーディネーター）としての能力に関する内容
⑤幅広い視野と探究心に関する内容
⑥プレゼンテーション（企画や発案などをわかりやすく発表する）能力に関する内容
⑦交渉（説得）能力に関する内容
⑧情報機器の活用に関する内容
⑨行政における事務処理能力に関する内容
⑩各分野の指導に必要な知識や技術に関する内容
⑪評価に関する知識や技術に関する内容
⑫その他

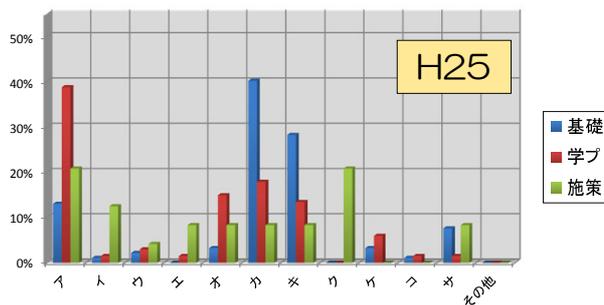
事前アンケートには、左記の項目に該当しない内容も多くあったので、項目の削除をしたり追加をしたりしながら、項目そのものの修正を行った。その結果、次のページのア～サの11項目となった。

11

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて

事前アンケートの記述内容の分類

ア 学習課題の把握と企画立案能力
イ 各分野の指導に関する知識や技術に関する内容
ウ 学習者の集団の組織化援助能力
エ 評価に関する知識や技術に関する内容
オ 調整者（コーディネーター）としての能力
カ 基礎的・基本的事項、関係法令に関する理解
キ 各所属の機能・役割・業務運営に関する理解
ク 幅広い視野と探究心
ケ プレゼンテーション（企画や発表などを分かりやすく発表する）能力
コ コミュニケーション能力
サ 自分自身のスキルアップ



平成25年度の記述内容を見てみると...

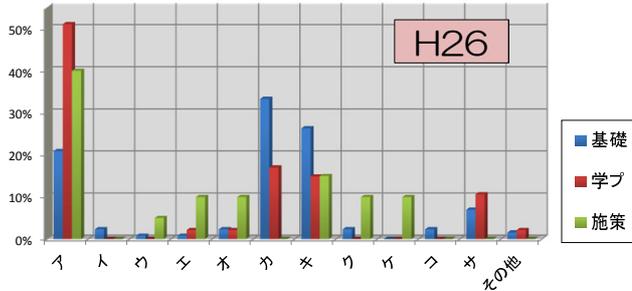
- 基礎と学習プログラム研修受講者は、研修名の能力を高めたいと思っている。
- 施策立案研修の受講者のニーズは多様化している。

12

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて 事前アンケートの記述内容の分類

ア	学習課題の把握と企画立案能力
イ	各分野の指導に関する知識や技術に関する内容
ウ	学習者の集団の組織化援助能力
エ	評価に関する知識や技術に関する内容
オ	調整者（コーディネーター）としての能力
カ	基礎的・基本的事項、関係法令に関する理解
キ	各所属の機能・役割・業務運営に関する理解
ク	幅広い視野と探究心
ケ	プレゼンテーション（企画や発表などを分かりやすく発表する）能力
コ	コミュニケーション能力
サ	自分自身のスキルアップ

13



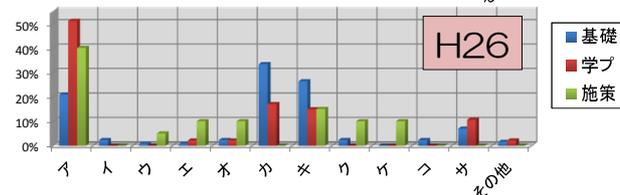
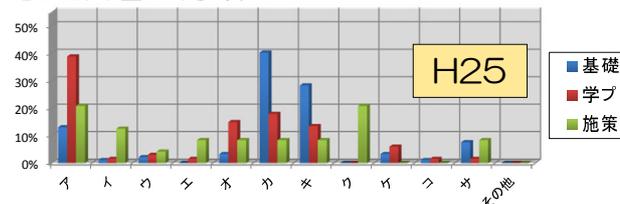
平成26年度の記述内容を見てみると...

- 平成25年度とほぼ同じような傾向である。
- 特に学習プログラム研修と施策立案研修においては、平成25年度の方がニーズが多様である。今後の課題かも知れない。

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて 事前アンケートの記述内容の分類

ア	学習課題の把握と企画立案能力
イ	各分野の指導に関する知識や技術に関する内容
ウ	学習者の集団の組織化援助能力
エ	評価に関する知識や技術に関する内容
オ	調整者（コーディネーター）としての能力
カ	基礎的・基本的事項、関係法令に関する理解
キ	各所属の機能・役割・業務運営に関する理解
ク	幅広い視野と探究心
ケ	プレゼンテーション（企画や発表などを分かりやすく発表する）能力
コ	コミュニケーション能力
サ	自分自身のスキルアップ

14



比較してみると...

- ほぼ同じような傾向である。
- ウとケの項目など少しずつであるが変化もある。継続して分析することで、受講者の変容等が見えるかもしれない。

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて

● 事後アンケートの記述から見えてくること

○ 基礎研修

事前アンケート

基礎的な内容を学びたい → 学習課題の把握と企画立案の能力を高めたい

事後アンケート

事前アンケートだけでなく事後アンケートの内容も踏まえて分析してみると、次のような傾向が見えてきた。

○ 学習プログラム研修

事前アンケート

学習課題の把握と企画立案の能力を高めたい → より専門的な内容を学びたい

事後アンケート

○ 施策立案研修

事前アンケート

より専門的な能力を身に付けたい → 所属する自治体に応じた多様な課題に取り組みたい

事後アンケート

分析を通して見えてきた成果 (○) と課題 (●)

○ 基礎研修から学習プログラム研修への誘導と学習プログラム研修がより高度な専門性を磨く研修への動機づけに繋がっている。

● 施策立案研修での、より専門的な内容について、また、所属する自治体に応じた多様な課題についての内容がまだ明確になっていない。

15

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて

本分析を通して見えてきた受講者が研修へ期待する内容は...

ア	学習課題の把握と企画立案能力
イ	各分野の指導に関する知識や技術に関する内容
ウ	学習者の集団の組織化援助能力
エ	評価に関する知識や技術に関する内容
オ	調整者（コーディネーター）としての能力
カ	基礎的・基本的事項、関係法令に関する理解
キ	各所属の機能・役割・業務運営に関する理解
ク	幅広い視野と探究心
ケ	プレゼンテーション（企画や発表などを分かりやすく発表する）能力
コ	コミュニケーション能力
サ	自分自身のスキルアップ

16

全11項目

3 研修参加へのモチベーションを上げることについて

研修に参加したいというモチベーションが高い研修とは？

受講者や受講者の所属先の思い、研修提供側の思い、それぞれの思いを共有することのできる研修に！！

受講者

自分が求めていること

取り組みたいことが明確になる
・～ができないかな。
・こんなことをしてみたい！

職場から求められていること

組織としての役目が明確になる
・何が求められているのかな。
・組織としてどうあるべきかを考える材料となる！

目指したい研修

研修の目標が明確になる

研修提供側

研修提供側としての支援

・研修内容の更なる改善・事前アンケートの改善・ニーズの把握・最新の動向の情報提供等

17

4 事前アンケートを参加者に還元するための手立てについて

目指すべき方向性

◎研修受講者へのフィードバックとして研修で活用する。

- ・コミュニケーションツールとして活用する。
→受講者の所属上司への聞き取りの項目の追加
- ・基礎研修・学習プログラム研修・施策立案研修ごとの活用方法を考え、追加する機能を来年度案に入れる。

18

5 事前アンケートの具体的な改善案について

○追加する機能

●基礎研修

受講者のニーズ

- こんなことをしてみたい
- 自分のキャリアをこのように伸ばしたい
- 本分野に期待されることを理解したい

キャリアデザイン機能

●学習プログラム研修

受講者のニーズ

- こんなプログラムをしてみたい
- こんなことはできないだろうか

発想力・企画力の
向上機能

●施策立案研修

受講者のニーズ

- 所属の自治体の現状と課題についての分析したい
- 所属の自治体に合った施策や事業に取り組みたい
- 学んだことを周囲に広げていきたい

所属の自治体に応じた分析を行う
自己分析機能

19

※これらは研修で活用する

6 成果と課題、今後の方向性について

成果

- 基礎研修が学習プログラムを学ぶ研修への動機付け、学習プログラム研修がより高度な専門性を磨く研修への動機付けにつながっていることが確認できた
- 事前アンケート等の分析をする際、アナログテキストマイニングの手法が効果的であることが明らかになった。
- 受講者の研修に対するニーズが明確になったので、今後の研修運営に役立てていくことができる。
- 同じ研修体系で行う研修を3年一括りとして考えると、本研修は再来年度、見直しを図る必要がある。そのために、これまで2年を終了した時点で、一旦まとめて、再来年度の研修体系見直しの足掛かりとすることも想定しており、本研究はその基礎資料となると考える。

今後の課題

- 本研究で明らかになった11の項目について、研修で理解することができたかどうか、また実際の職務に役立てることができたかどうかをヒアリング調査などを通じて、研修対象者へ聞き取ることでできなかった。今後はヒアリングなどを通して、市町の職員の実態に近づけるようブラッシュアップしていく。
- 施策立案研修へ参加した受講者が求めている多様なニーズへ対応した研修内容については、先のヒアリングなどと関連させて、今後も引き続き調査研究を行う。

20

参考文献

- 文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター「平成21年度社会教育活動の実態に関する実態調査報告書」平成22年3月
- 山川尚美「生涯学習者にとっての自己評価の意義—自己志向のポートフォリオを手がかりとして—」2002
- 香取一昭・大川恒『決めない会議 たったこれだけで、創造的な場になる10の法則』株式会社ビジネス社，2009
- リサ・ヘインバーグ『組織開発の基本—組織を変革するための基本的理論と実践法の体系的ガイド—』株式会社ヒューマンバリュー，2012
- ジョー・ウィルモア『HP | の基本—業績向上に貢献する人材開発のためのヒューマン・パフォーマンス・インブループメント—』株式会社ヒューマンバリュー，2011
- 山内祐平・森玲奈・安斎勇樹『ワークショップデザイン論—創ることで学ぶ—』慶応義塾大学出版会株式会社，2013
- 堀公俊・加藤彰『ロジカルディスカッション』日本経済新聞出版社，2009